

## 檜枝岐村ルートの基本情報

ルート全体の距離: 約 13.8km

### 集落めぐりコース

(約 5.3km・片道約 2 時間 30 分)

尾瀬国立公園の玄関口。鎮守の森の歌舞伎舞台など、厳しい自然と共に生きてきた山村独自の知恵や文化を知り、集落のたたずまいをめぐるコース。

難易度 ★(一般向け)

### 最寄りの交通機関・駐車場

道の駅「尾瀬檜枝岐」駐車場・バス停  
ミニ尾瀬公園駐車場・バス停

### 尾瀬沼・会津沼田街道コース

(約 8.5km・片道約 4 時間)

自然道の残るかつての街道で沼山峠を越え、大江湿原の木道を歩きながら、尾瀬沼と周囲の深い山々の広大な景色を楽しむ登山コース。

難易度 ★★(登山初級~中級者向け)

### 最寄りの交通機関・駐車場

七入駐車場・バス停

### トレイルオアシス

#### 山旅案内所(道の駅「尾瀬檜枝岐」内)

村内や尾瀬の観光・登山・イベント情報の発信拠点。24 時間トイレも設置。レンタサイクルの貸し出しも。

営業時間: 8:30~18:00 (5月~10月)、  
8:30~17:00 (11月~4月)  
無休



### ちょっと一息



#### 尾瀬の郷 交流センター (道の駅「尾瀬檜枝岐」内)

檜枝岐名物の「裁ち蕎麦」などを食すことができるお食事処。また、檜枝岐村の特産物の販売もしています。



#### 山人(やもーど)料理

村の蕎麦粉、山菜、きのこや川魚などの季節食材を使った郷土料理。村の蕎麦店や旅館にて食べられます。



#### ミニ尾瀬Café (ミニ尾瀬公園内)

山の恵みを活かしたカフェスイーツメニューが揃う。「サンショウウオジェラート」は元気が出る美味しさ!



#### 燧の湯

村内の公衆浴場。単純硫黄泉の源泉かけ流しの温泉。露天風呂で旅の疲れを癒しましょう。

### トレイルを楽しむための服装・持ち物

#### 服装

- リュックサック
- トレッキングシューズ
- 上着(休憩時や天気の急変時に便利)
- ズボン(動きやすく速乾性素材のもの)
- シャツ(速乾性素材の半袖・長袖)
- ストック
- 帽子
- 手袋
- マスク



現地で必要なものがないで困ったり、荷物が多くて疲れたりすることのないようしっかりと準備しましょう。

ゆっくり、じっくり、歩いて旅する

## 会津トレイル



福島県西部に広がる会津地方は、広大な森林と変化に富んだ山や川、希少な動植物など、豊かな自然に恵まれています。また、農村には、自然と人の暮らしが織りなす里山の風景が残されています。

「会津トレイル」は、趣のある集落道や田園風景が広がる里山の道、かつての街道など、会津の自然や独自の文化、そこに暮らす人々の温かいもてなしを感じることができます。「道」をつないでいます。ぜひ、歩くスピードで、豊かな会津を肌で感じてください。

### 尾瀬・檜枝岐エリア

#### 訪れる自然公園: 尾瀬国立公園

本州最大の高層湿原である尾瀬ヶ原、噴火により只見川の源流部がせき止められてできた尾瀬沼、それらを囲む至仏山や燧ヶ岳、会津駒ヶ岳などの名峰が織りなす美しい風景を有しています。福島県側の玄関口に位置する檜枝岐村では、深山幽谷の郷に凜とした暮らしが息づいています。

### 会津トレイルのルール

トレイルを歩くときはマナーを守り、  
安全第一で利用してください。

- ・安全管理は自己責任が基本です。決して無理をしないようにしましょう。
- ・事前に距離や時間、交通機関などを把握し、余裕のある計画を立てましょう。
- ・交通ルールを守り、事故に注意しましょう。
- ・自然道では落石や倒木、土砂崩れ等に注意しましょう。また、天候が悪い時や積雪期は歩行を控えましょう。
- ・動植物を持ち帰ったり、傷つけたりしないようにしましょう。
- ・ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ・コース外の森や田畠、民家の敷地などには入らないようにしましょう。また、施設の損壊に注意しましょう。
- ・他のハイカーや地元の方に配慮した行動を心掛けましょう。
- ・キャンプやたき火は、決められた場所で行いましょう。
- ・クマやハチなどの野生動物に注意。クマよけ鈴を携帯しましょう。

緊急時の救助要請 警察 110 救急車 119



### 問い合わせ先

#### 尾瀬檜枝岐温泉観光協会

〒967-0527 福島県南会津郡檜枝岐村

字見通 1155-1

TEL.0241-75-2432 FAX.0241-72-8010

発行:

福島県 生活環境部 自然保護課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2-16

Tel: 024-521-7251 Fax: 024-521-7927



2021年3月

## 会津トレイル

## 檜枝岐村ルート

### 尾瀬・檜枝岐エリア

## 山人の伝統と尾瀬の古道をめぐる旅



檜枝岐に根付く山人の伝統に触れ、峠を越えて尾瀬の湿原と山々が織りなす広大な景色を楽しむ

檜枝岐村は会津地方の西南端に位置する尾瀬国立公園の福島県側の玄関口です。

東北最高峰の燧ヶ岳や会津駒ヶ岳など2000m級の山々にぐるりと囲まれ、村の標高は900mを越えています。平地が少なく日照時間が短いため米を作れず、昭和30年代までは畑の近くに建てた「出作り小屋」に家族で住み、ソバなどを育てていました。出作り小屋に出かける5月と村に帰ってくる8月に人々は集まり、豊穣の祈りと再会の感謝を込めて鎮守の神に奉じたのが檜枝岐歌舞伎です。すべて村人で支えられる歌舞伎の技と精神は、代々親から子へと受け継がれ、村の暮らしを伝えています。



### 山懐に抱かれた檜枝岐村

中土合公園展望台からは、深い山間にたたずむ村を一望。赤さび色に塗られた屋根が美しい。



### 会津沼田街道

かつて交易路として使われていた会津と上州を結ぶ古道。七入から沼山峠間は、今も沢沿いに自然道が残されています。途中の抱返ノ滝は優雅な表情。



### 大江湿原

尾瀬沼周辺で最も広大な湿原。湿原植物が季節ごとの表情を見せてくれます。会津トレイル「只見柳津エリア」を流れる只見川の源流部でもあります。

